

マザアスニュース 第15号

ひだまり

2000年1月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス
〒203-0004 東京都氷川台2-5-7
Tel 0424-77-7261
Fax 0424-77-7500
発行責任者/高原 敏夫
編集責任者/山崎 宣子



グループホーム たきやま

迎 春

理事長 手塚 清三郎

明けましておめでとうございます。
マザアスの皆様には静かな佳き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

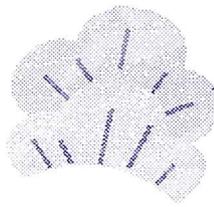
懐古しますとき旧年の日本経済は経済復興をモットーに国をあげての努力にも拘らず、長期不況から脱出したという環境には至らず本当に厳しい一年だったと思います。しかしながら、また福祉と介護という情報については毎日のように報道されておりましたが、いよいよこの春からは現実としてその動きが出てくる訳であります。出来得ることならば平穏なる毎日であることを心から願うものでございます。

我がマザアスの現況を思いますとき、昨年

は日野がオープンしたことで車の両輪が揃った形となりました。先程申しました日本の経済も本年は良き方向に向上する期待もありますし、新しい年には是非入所者の皆様共々に希望ある日々でありますようにそうした日を重ねて参りたいと考えております。

ボランティアの皆様には去る一年の心暖まるご支援に対し、あらためて感謝と御礼を申し上げます。この年も変わらぬお力添えの戴けることを心からお願い申し上げます次第でございます。

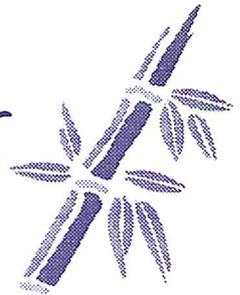
本年が職員並びに皆様の上に佳き年であります様心からお祈念を申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



介護保険元年を迎えて

施設長

高原 敏夫



◆変革の年

老人福祉法が1963（昭和38）年に制定されて以来、これほど大きな変革の嵐が吹きあれたことはなかったでしょう。

その最大のものが、4月1日からスタートする「介護保険」です。おかげで、特別養護老人ホームのありようも様変わりすることになります。そこで、変化への対応策をしるすことによって、新年の船出への所信としたいと思います。

◆スタッフの心構え

昨年7月から9月にかけて、職員研修会を開催しました。全職員が5グループに分かれて5日間、それぞれのグループが午後6時から9時頃まで、「介護サービス利用者の立場に立ったケアを実現するためには、今何をなすべきか」を皆で討議する時間をもったわけです。

異なった日程で参加しても、テーマは同じということで、日中の仕事の疲れも忘れて真剣に議論していました。

「ケアの質の向上」「ケアの個性」「ケアの方向性の統一」「チームケアの強化」等が話題になり、この議論のなかで、「『マザアスに行けば何とかなる』と言われるようなホームにしたい」という心強い意見もありました。とにかく職員にも、心新たに変化に対応していきたいという意気込みを感じました。

◆具体的な対応策

経費の圧縮は必然的なものであり、このような環境のなかでも、経営がある以上、収入増対策、支出減対策も当然あるわけです。

介護保険に見合う職員配置への見直しのほか、業務委託している業者には事情を説明して協力を求め、職員にも節約を徹底してもらうこととなります。

特別養護老人ホームでは夕食開始時間を5時30分から6時以降に変更し、在宅サービスは週5日間提供から6日間へ拡大することになっています。

給与体系も1年がかりで検討し、変化に対応できるものに改訂して、今年の4月から発足しております。

◆新たな試み

今年は介護保険スタートまでに、二つのことに取り組みねばなりません。

その一つは、「グループホームたきやま」を軌道に乗せることです。「グループホーム」とは、「共同生活が可能な痴呆性高齢者が、落ちついた雰囲気の家家庭的な住居に少人数で住み、24時間の専門的な援助のもとで、それぞれの個性と能力を發揮しながら暮らしていく場であり、そのためのサービス提供のあり方である」ホームのことです。本部のある氷川台からは距離的に多少遠いものの、市内では初めての試みですので、全力投球していきたいと考えています。

二つめは、「訪問看護ステーション氷川台」です。これは、事業所開設の諸手続きがこれからですから、まだ記事にするのには不安な部分もありますが、法人理事会としては開設の方向で決議されています。もし許可になれば、東久留米市東部地区の訪問看護は強化されることになると思いますし、マザアスにとっても、在宅介護支援センターとヘルパーステーションのサービスがそろうこととなりますので、在宅サービス提供機関として大きく前進することができます。

◆利用者の自立支援のために

「介護保険」だけでなく、「社会福祉基礎構造改革」も同時進行ということになっています。その理念は「個人の自立を基本としてその選択を尊重した制度の確立」と「質の高い福祉サービスの拡充」であり、「地域での生活を総合的に支援する地域福祉の充実」です。もう少し具体的にみると、施設福祉と在宅福祉の充実ということになります。

介護保険の中心テーマは「自立支援」であり、改革のポイントは「利用者の立場に立った制度の構築」ということのようにです。

「変化」のなかで中心思想をしっかりとらえて、方向を見失うことなく、お互いに協力しあって汗を流すことができるようにしていきたいものです。



声の欄

マザアス大門が7月15日に始まってから5ヵ月経ちました。在籍数23名となり出会いや交流の場として少しずつ活気を帯びてきています。現在プログラムは利用者各自に選んでいただいた個別の内容を中心に作業を行っています。

外出の機会もできるだけ多くつくれたらと考え、市内七福神巡り、川越市内見物、高齢者作品展見学、「喫茶店に行く」「電車に乗りに行く」等、皆様の希望を実現できるような外出を行っています。

テイサービスをご利用の皆様方から意見や感想を寄せていただきました。

◎始めは何もしたくありませんでしたが、以前大好きだった陶芸をやってから少し楽しくなりました。今は毎回楽しく過ごしています。

大野 瑞治

◎皆さんと会ってたくさんお話ができて色々なことがわかるようになりました。楽しみにきています。

亀田 一成

◎陶芸の色つけが大門でもできるようにして下さい。

長谷川 俊幸

◎テイサービスのリハビリは、自分の考えていたものと少し違っていました。職員の皆さんの指導のもと片手でもいろんな作品ができて喜んでおります。皆さんと一緒に話しながらマザアスのお食事をするのも楽しみです。

Y・T

◎私は月・木にテイサービスとしてお世話になる事になりました。来てみると施設はピカピカでスタッフは若々しくて張り切ったよい環境です。私も張り切っていきたいです。

工藤 幸雄

◎大門に来るのが楽しいです。先生方のご指導で5人の仲間が元気になりました。

ごはんがおいしいので毎日来るのが楽しみです。

B・N

◎私の作った手芸品を見て娘が、「同じものを作りたい」と言ってくれました。また新しい手芸に励みたいと思います。

H・N

◎手がふるえたり、色々なことができなくなって悔しくてたまりません。でも、私の作った和紙の器をみて、孫も喜んでくれました。

清水 キン

◎マザアスに来られるようになってとても感謝しています。皆さんとお話するのが楽しいです。

岩田 サダ子

◎お話の上手な方や親切な方、ほがらかな方やいい人ばかりでマザアスは本当に楽しい。

倉田 ミツエ

◎家にいると横になったりしていることが多いのですが、マザアスに来ると気持ちがシャンとします。次は文化刺しゅうをやる予定で、材料が届くのを楽しみにしています。

下位 あい子

◎皆さんが本当によくしてくださって感謝しています。学問も無し、何も無しでこれまでやってきましたができれば週2回来させてもらえればと思っています。

白石 清

◎私は手術をしてから声が出なくなり骨が折れます。声がきちんと出れば、マザアスに来るのがもっと楽しくなるのにと思い残念です。

N・K

◎私は膝が痛いので、家の庭にも出られず情けない毎日を送っていました。でも今はマザアスに入れていただいて本当に有り難く思っています。

N・I

◎それぞれの貴重な経験や特技の持ち主と知り合いになれてよかったと思います。

Y・M





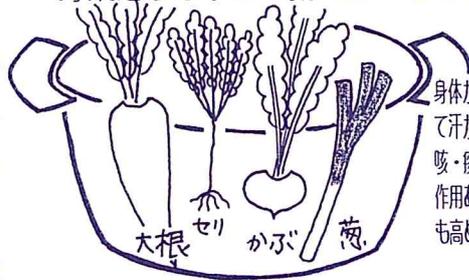
『ナースからのワンポイントアドバイス -インフルエンザ-』

インフルエンザは、38-39℃以上の高熱頭痛、関節痛、全身倦怠感、苦しくなる呼吸症状が現れ、1週間位続き、他の風邪症状より全身症状が強いのが特徴です。若い人に比べると、お年寄りには抵抗力の低下で肺炎の危険があります。

予防策は①インフルエンザの予防接種を受けておくこと。②流行期は人込みに出ない。③うがいや手洗いをする。④過労や睡眠不足に気を付け、⑤バランスのよい食事をとり、抵抗力を養う。

かかってしまったら、出来るだけ部屋を別々にして感染に気を付け、早めに医師の診察を受ける。又、安静にして、食べやすく栄養のあるものを摂り、水分補給も充分にする。

もし風邪にかかったら・・・
野菜たっぷりのお粥で身体を温めよう。



身体がホカホカして汗が出て来ます。咳・痰・熱・利尿作用あり。消化力も高める。

精神的な因子も影響します。過度に緊張したり、気をゆるめたりすると風邪症候にかかりやすくなります。適度な精神的緊張を保っているのがかりにくいです。

※風邪にかかっている方は入居者への面会は御遠慮下さい。



ごあんない



東久留米市東部在宅介護支援センターは、10月1日よりマザアス氷川台の3階へ移転してきました。どうぞよろしくお願いいたします。

- *介護でお困りの方
 - *市へのサービスの申請に関する事
 - *福祉用具（車イス、入浴補助具等）に関する相談
 - *テイサービス、ショートステイ等の相談
 - *介護保険に関する事（ケアプランの依頼）
- 等何でもお気軽にお電話ください。

"困った時の東部在宅介護支援センター

73-9996番へ"

どうぞ！お待ちしております。



キッチン・ダイニングルーム

『グループホームたきやま』は、おおむね身辺自立が可能な痴呆のある高齢者が、それぞれの能力を生かし、例えば、料理、掃除、買い物等をしながら家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ります。

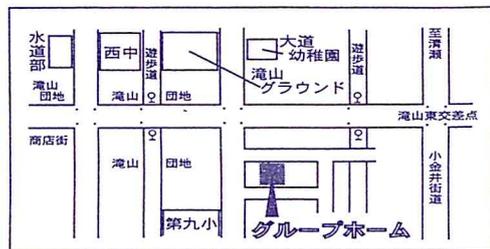
☆生活援助職員が24時間体制でサポート

マザアス収支報告

去る10月15日のバザーでは、地域の皆様のご協力をいただきまして多くの収益を上げることが出来ました。このお金は昨年の収益を含めてグループホーム援助資金にいたします。

純利益 186,933円

このうち1割相当をボランティア基金へ、同じく1割相当を東久留米市社会福祉協議会へ寄付させていただきました。



編集後記

西暦2000年の幕開けです。皆様にとって、良い年でありますように。記念すべき年の新聞発行に関わることができて、良かったと思います。 中屋 真岐子

特別養護老人ホーム マザアス東久留米	高齢者在宅サービスセンター マザアス氷川台	高齢者在宅サービスセンター マザアス大門	東久留米市東部在宅介護支援センター マザアス氷川台指定居宅介護支援事業所	グループホーム たきやま
Tel 77-7261	Tel 77-7263	Tel 70-0065	Tel 73-9996	Tel/Fax
Fax 77-7500	Fax 77-7500	Fax 70-8024	Fax 77-7500	77-1525